

2016年度
関西学院大学ロースクール

A日程

一般入試（法学既修者）

民法問題

《12:30～14:00》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【民法問題】

以下の<事例>を読み、設問①～③に答えなさい。

<事例>

Xは、2008年4月、Yとの間で、Y所有の甲土地（以下、甲）と乙建物（以下、乙）を代金3000万円で購入する契約を締結し、同年同月、甲・乙の登記移転と引渡しを受け、同時にYに対して上記代金を支払った。ところで、Xは、その後乙を改築しようとするに当り、甲には購入当時から「建築基準法上の制限」がかけられ、乙の改築に大幅な制約を受けることを知ったが、それは2013年4月のことであった（1）。

そこで、Xは、この「制限」を知ってから約半年後の2013年10月、Yに対して、「制限」をなくすための措置を求め、それができない場合、500万円の損害賠償請求をする旨を郵便で通知した（2）。その後、Yが上記措置を拒否したため、Xは、この「制限」を知ってから1年以上経過した2014年10月になって初めて、Yに対して損害賠償を求める訴訟を起こした（3）。なお、XもYも、建築基準法の「制限」がかかっていたことを知らず、かつ、知らなかったことについて過失はないものとする。

設問① <事例>で、XがYの損害賠償責任を追及する場合、下線部（1）でいう「建築基準法上の制限」が民法上有する意味を考えた上で、どのような法的構成が考えられるか、について、説明しなさい。

設問② Xによる損害賠償責任請求に対して、Yは、下線部（3）の事実に注目して反論をするつもりであるが、どのような反論が想定されるか、説明しなさい。

設問③ 下線部（2）の事実に注目して、設問②でのYの反論が成功するか、について説明しなさい。

以上